

NONCRA®Eスーパー強化目地処理工法 PAT

内部壁・天井塗装、クロス、珪藻土仕上

ケイカル板・GRC・PB

平成25年6月1日

技術相談窓口 株式会社ライトビームシステム技術センター

Tel.03-5346-2120 Fax.03-5346-2127 携帯Tel.090-4518-1395

☛LGS・木下地軸組:NONCRA®JOINT工法

STEP 1. 鋼製下地野縁受けチャンネル格子組固定補強 ～ 目地突付け貼

野縁受け+野縁受け交差部:振れ止めクリップ使用

野縁受け+野縁交差部:RPクリップ使用

ステンレス留付け・留付間隔15cm以内・ボンド併用

☛ 弊社HP:「設計事務所の方へ」を開き「天井軽量鉄骨下地・ボード貼耐震仕様」参照

V目地の場合:“変性エポキシ樹脂シーラー”塗～NONCRA®特性厚付用パテ”充填平滑仕上

STEP 2. 継目部“オビタルサンダー”目違い不陸研磨～清掃～ 全面“変性エポキシ樹脂シーラー”塗

STEP 3. テープ幅”NONCRA®テーププライマー、ローラー塗～接合テープ”NONCRA®Eスーパー”貼着～

ステンレス鋼帯フクレ部・ヨコ目地タッカ留付固定

☛ 弊社HP「テープの貼り方」参照

“専用フィルム用ヘラ”を使用し、テープ両耳押圧離れ紙剥離、貼着前後2回しごき貼着

- ☛ 注意 ・出隅→NONCRA®出隅コーナ、異種間、常時振動部→NONCRA®Eスーパー、NONCRA®EXスーパーを使用
- ・テープ接着面のパテ表面強度が弱い(粉パテなど)と、挙動時テープがパテを引き起こし剥がれる
- ・テープを引張って貼れ。シワができればカッターで上から切断し「タッカ」接着留付固定

STEP 4. テープ上”NONCRA®専用塗材”塗 接着結合 塗幅:テープ上面

1回目:“NONCRA®弾性エポキシ”塗へらしごき取り 幅:60mm 乾燥硬化:夏季4時間以上、冬季1日以上
二液反応速硬化タイプ、弾性引張伸び率110%、ハジキ皆無

☛ 警告:エポキシ樹脂が硬化前に次工程に入るな・乾燥後仕上面にカメノコ亀裂が入ってしまう

2回目:“NONCRA®エポコート”塗 原液塗布 幅:60～70mm 2インチ中毛ローラー使用 乾燥硬化:3時間以上

STEP 5. 目地処理面パテ塗

1回目:“NONCRA®C特性厚付用パテ”+“NONCRA®C仕上用パテ”塗

厚0.3～0.5mm以下

2回目:“NONCRA®C仕上用パテ”塗

STEP 6. サンディング 塗り継ぎ部当てペーパー掛け、適時#100～120ペーパー選定使用

STEP 7. “仕上塗材用下地調整材”全面吹付け・ローラー塗 ～ 超平滑へらしごき ～ 仕上塗装

下地処理材の一例:水性ソフトサーフSG(一液水性微弾性サーフェーサー)

500～600g/m²

☛ 特徴:「シーラー機能」「フィラー機能」「中塗り機能」「仕上塗材の下地の付着性」処理部との吸込み・仕上ムラ防止
硬化乾燥:3日以上

STEP 8. 仕上塗装 2回塗 450g/m²

アドバイス

- ・テープの完全接着と仕上材各工程に於ける乾燥時間の厳守
- ・下地に仕上塗料が吸込まれ、色むらが出る。下地処理を入念に施工すること
- ・太陽の入射角による不陸に注意し、斜光時に最終不陸調整を行なう